

抗菌薬使用量統計：欧州との比較

○本データは、診療、調剤時に発生する診療報酬明細書、調剤報酬明細書をもとに集計しています。医療費公費負担制度受給者のデータなどが含まれないことがあり、正確な使用量を示すものではありません。また、データソースが異なるため、販売量サーベイランス (<https://amrcrc.jihs.go.jp/surveillance/020/20190902163931.html>) とは数値が異なります。

○欧州のデータについては、European Surveillance of Antimicrobial Consumption Network (ESAC-Net) に記載の情報を使用しています。 (<https://www.ecdc.europa.eu/en/about-us/partnerships-and-networks/disease-and-laboratory-networks/esac-net>)

・ community sectorおよびhospital sectorの合算としているため、両データの掲載がある国のみを対象としています。

○イギリスのデータについては、English surveillance programme for antimicrobial utilisation and resistance (ESPAUR) reportに記載の情報を使用しています。 (<https://www.gov.uk/government/publications/english-surveillance-programme-antimicrobial-utilisation-and-resistance-espaur-report>)

○表記されている数値は、人口と薬剤ごとのDefined Daily Dose (DDD) で調整した『標準化使用量』を表しており、これをDID (DDDs/1,000 inhabitants/day) と呼びます。(参考：https://www.whocc.no/atc_ddd_index/)。DDDは公開時点で最新のものを使用しております。

○人口は、総務省統計局の人口推計 (<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/>) を利用しています。

○その他、抗菌薬集計に関する用語に関しましては、こちらをご参照ください。 (https://amrcrc.jihs.go.jp/surveillance/jsac_glossary.pdf)

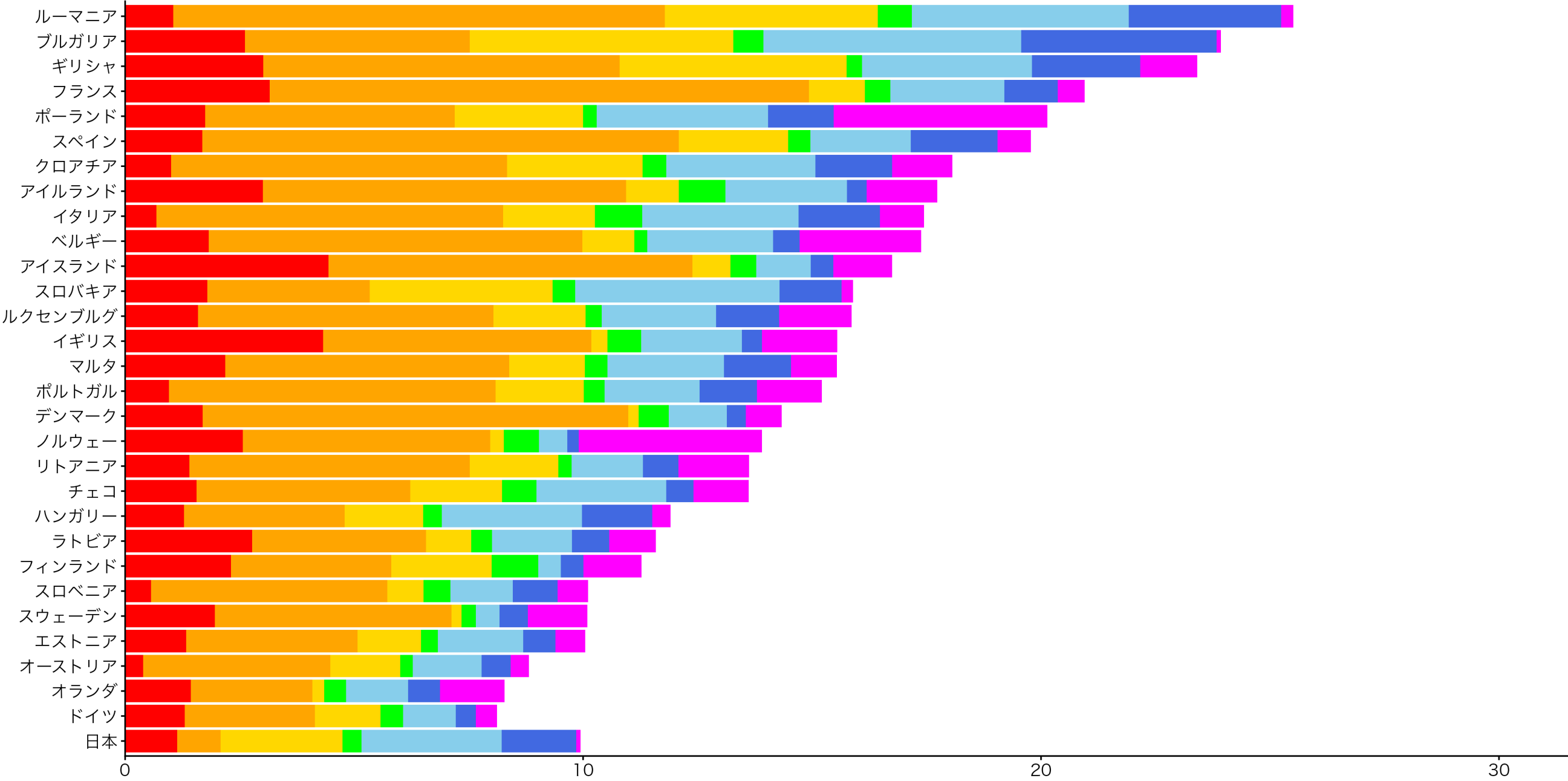
○注意事項 本データの抗菌薬種類はAntimicrobial consumption - Annual Epidemiological Report for 2021と同様に、WHOのATC3Levelによる分類としています。ATC分類の詳細については https://www.whocc.no/atc_ddd_index/ を参照してください

(※) 本データ解析は、以下の研究に基づき実施されたものである。

・ 令和6年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業(厚生労働科学研究費補助金)

薬剤耐性(AMR) アクションプラン2023-2027年の実行における課題解決のための研究(研究代表者:大曲貴夫)

欧州および日本における抗菌薬使用量の国際比較 (2021年)



抗菌薬

その他の抗菌薬	マクロライド、リンコサミドおよびストレプトグラミン	セファロスポリンおよび他のベータラクタム	テトラサイクリン
キノロン	スルホンアミド・トリメトプリム	ペニシリン	